

令和4（2022）年度 学校経営計画及び学校目標

1 めざす学校像

- ・常に主体的で挑戦心、探究心を持ち、また思いやり・気配りのできる生徒の育成
- ・これからの多様な変化に富んだ社会、変容する国際社会の中でも、自分の考えで行動し、活躍、貢献できる女性の育成
- ・学校経営の安定と信頼回復（生徒数の回復）

そのために、全学的に高質な教育の提供を維持し、授業や行事・部活動、地域連携など学校におけるあらゆる教育活動を通して、一人ひとりの能力を最大限に高め、次に掲げるめざす学校像の実現に最善を尽くす。

1. 勉強と部活・行事に、本気で取り組める学校
2. 希望する進路を実現させられる学校
3. 社会から信頼され、地域からは誇りに思ってもらえる学校—開かれた学校（地域連携の充実）

2 中期的目標

1. 授業の充実と進路の実現 学校テーマ「ICTを用いた主体的で探究心を育成する授業」
 - (1) 「わかる授業」「学力がつく授業」「進路に結果を出す授業」に取り組む
 - ① 授業アンケートを軸にしたPDCAサイクルの徹底による授業改善を進める。
 - ② 教師力（教科指導力（授業力・専門知識）＋人間力）を向上させる。
— これまでに蓄積してきた授業実践の成果を継承しつつ、ICT機器を活用するなど授業に新風を吹き込む取組みを進める。
— 各種研修会や授業公開を積極的に行い、学校としての自己改革力高める。
 - ③ 「探究・展開・発表する力」を育む取組みを進める。
— アクティブ・ラーニングを取り入れた能動的な学習法を追求する。
— 生徒自身の発表の舞台を作る。（学習発表、英語プレゼン、情報プレゼン発表など）
 - ※学校アンケート（生徒。保護者）における「授業はわかりやすく楽しい」に関連する問いの肯定率（R3-生徒 55% 保護者 72%）を、R4年度には双方80%以上をめざす。
 - (2) 進学実績の向上
 - ① 「授業・自主的学習の一体化と充実を図る。（クラッシーによる課題提供やチェック機能）
 - ② 「自学力」の育成—もっと学びたい生徒のための環境づくりに取り組む。
— 各時期の講習会の活用と駿台予備校の学習システムの活用
 - ③ 「中堅・難関大志望・看護医療系進学希望者」—進路を実現させる工夫とともに生徒の細やかな希望に応える体制づくりを行う。
 - ④ 総合コースにおける、日常的な学習効率の向上—授業を大切にすることの育成
 - ⑤ 新1年からの学習指導要領改訂、教科書改訂に向けた準備を進める。
2. 主体性・探究心をもった学習姿勢と学校生活での他人への思いやり・気配りの精神の涵養
 - (1) 「主体的・探究心」の育成とともに、集団生活で「人を思いやることの大切さ」を実感させる。
 - ① 勉強と部活・行事の両立 — 学習・生活習慣・多様性・挑戦心の育成。
 - ② 生徒会活動の自主運営 — 文化祭、体育大会等の自主企画・運営を行い、生徒に多様な集団活動運営で味わえる成就感、達成感を体験させる。
 - ③ 国際理解の推進 — 国際交流事業に取り組む。
 - ④ 人権尊重教育の取組み — 多様な社会の中で、視野・視座の上がる教育を行い、思いやり・気配り力の醸成も図る。

※学校アンケート（生徒）「体育大会や文化祭などの学校行事では、自分の力が十分に発揮できる」肯定率（R3：65%）をR4年度に80%以上をめざす。

(2) 教育相談体制の充実

① 担任、学年は人権教育委員会を中心として相談員、養護教諭の協力を得て、本人の希望を大切にしながら情報の共有化を図り、学校全体で支えていく体制を充実させる。

※学校アンケート（生徒）「悩みや困ったことがあるときに相談できる先生がいる」保護者「学校は適切なアドバイスを行っている」の肯定率（R2-57%・65%）を、R4年度には両方とも80%以上をめざす。

3. 学校力を高める機能的な組織運営と地域連携

(1) 機能的な組織運営と学校情報の積極的発信

① チームワーク・フットワーク・ネットワークを生かした機能的な校務運営に務める。

② ミドル・アップダウン・マネジメントを有効に機能させる。また、積極的なOJTを通じて次代を担うリーダーの育成に努める。

③ 学校説明会、HPなどを活用して、積極的な情報発信・コミュニケーション強化に努める。

④ 学校評価委員会、保護者会、照思会との連携を充実させる。

(2) 地域連携の推進

① 地域信頼の回復を狙いとし、子供食堂や商店街とのコラボレーション企画を開発し、今年度より取り組みを始める。

② 学校評価委員会では地域の意見も大切にし、協力体制を構築する。

【学校教育自己診断の結果と分析・学校運営協議会からの意見】

学校教育自己診断の結果と分析 [令和4年12月実施予定]	学校運営協議会からの意見
<p>○生徒 授業評価アンケート 授業準備がしっかり行われているか 授業目標や、大切なポイントを説明してくれるか、声や話し方は聞き取りやすく、説明がわかりやすいか 質問したり考えたり、発表する時間が多いか 先生の話すスピードや声の大きさは適切であるか 教え方や教材に工夫が見られるか</p> <p>○保護者 学校への満足度調査を実施予定</p> <p>○教職員 各学期末の授業アンケートを踏まえ、良い評価については更に上質の授業を目指し、低い点については謙虚に受け止め、改善と工夫に力を注ぐ。常に生徒の目線に立ち、目標値を設定し効果的な指導に取り組んでいくようにする。</p> <p>【分析】 教職員に学校運営と将来構想を周知し、意識改革に取り組む。</p>	<p>○生徒 確実にアンケートが実施されていることは評価できる。保護者、生徒目線の重視とともに、結果の分析を、提示、開示する必要がある。 具体的な改善項目を、教員間で共有してゆくべきである。</p> <p>○保護者 子どもが学校へ行くのを楽しみにしている姿、学校での出来事を話してくれる姿にはとてもうれしいものがある。生徒全員がこういった満足感や充実感を持つような学校になってほしい。</p> <p>○教職員 アンケート結果が各人が、振り返りを行ってほしい。また受験に対応した教科力を備え教員の育成に心がける。</p>

3 本年度の取り組み内容及び自己評価 令和4年度

中期的目標	今年度の重点目標	具体的な取組計画・内容	評価指標	自己評価
学力の向上	<p>(1) 個に応じた学習指導の充実</p> <p>ア 授業における指導体制を確立する。</p> <p>イ 習熟度別展開授業の実施。</p> <p>(2) 生徒主体の授業改革の実施</p> <p>ア 指導と評価の一体化を図り、教科・科目の目標の達成に向けた授業改善を努める。</p> <p>イ 法令や生徒の実態を踏まえた教育課程の改善</p>	<p>(1)</p> <p>ア 指導方法評価方法を工夫し、思考力・判断力・表現力を育成する</p> <p>イ 生徒間の学力差を考え、総合コースにおいてアスリートクラス編成を行う</p> <p>(2)</p> <p>ア 教科の振り返りと授業点検をし、各教科の公開授業を積極的に進める</p> <p>イ 各コースにおける生徒の興味関心等に対応した特色ある教育課程を編成する</p>	<p>(1)</p> <p>ア 授業アンケート満足度75%以上</p> <p>イ 学年成績の推移を経年比較</p> <p>(2)</p> <p>ア 常に公開授業とし、相互の授業研究を実施</p> <p>イ 教育課程の編成</p>	<p>(教務部)</p> <p>(1) 満足度調査は、生徒68%、保護者71%と高評価ではあるが、目標値には届かなかった。不足部分の調査が必要である。</p> <p>(2) 日常的に教員間の相互参観を実施し、管理職、顧問の指導を受けて、高まった。</p> <p>今後、研究テーマを学校全体で統一的に設け、教科別に、課題を設定し、研究授業を精度をもって実施したい。</p>

<p>生活指導</p>	<p>(1) 基本的な生活習慣の確立 ・清楚端麗な身だしなみを心掛けさせる。 ・登下校マナーの徹底</p> <p>(2) 道徳教育、人権教育の推進 ・教育相談の充実を図り生徒理解に努める。 ・問題の早期発見・早期対応に努める。</p>	<p>(1) 身だしなみ指導週間の実施 また、毎朝、全教員による登校指導の実施</p> <p>(2) 道徳教育、人権教育を推進し、人間として調和のとれた生徒を育成する。 全教職員、適格な問題対処や教育相談ができるように研修会を実施。 「いじめに関するアンケート」の定期的な実施と適切な対応。</p>	<p>(1) 遅刻者数の統計調査により前年度比10%減少を図る。</p> <p>風紀検査／各学期毎 登校指導／毎朝 自転車安全講習会年1回実施 薬物乱用防止講演会年1回実施</p> <p>(2) 各学年人権学習（講演等） 教職員研修会1回実施 「いじめに関するアンケート」／毎学期末</p>	<p>(生活指導部)</p> <p>(1) 時間を守る概念の定着とともに校内規律の徹底を図るためベル席制度の徹底を図った。 クラスごとに定着率を生徒自身で測定、報告しあうことで意識が高まっている。</p> <p>(2) 体罰、暴力、いじめアンケートを今年も実施し、問題解決とともに発生率0%を目指す。</p>
<p>進路指導</p>	<p>(1) 生涯を見通した的確な進路指導</p> <p>ア 進路選択に向けた活動を企画・運営する。 イ キャリア教育を基盤とした組織的な進路指導の充実に努める。</p> <p>(2) 希望進路実現のための学力の充実と向上</p>	<p>(1) ア 3年間の系統的な進路指導計画を策定し、適切な時期に進路別ガイダンスや情報提供、講習や面接指導などを行うことにより、進路意識の向上を図る。 イ あらゆる機会を捉えて、生徒の人間力、将来の社会人としてのマナー向上を図る。</p> <p>(2) 模試や検定の受験に向けた意識の一層の高揚(事前・事後指導を徹底する)</p>	<p>(1) ア 各学年の進路ガイダンス面接対策講座(3年生) オープンキャンパスへの参加啓蒙 イ キャンパス見学の実施</p> <p>(2) 実力テスト・小論文テスト 模試分析の充実</p> <p>進路指導室利用の促進</p>	<p>(進路指導部)</p> <p>(1) ガイダンスなど各実施予定行事は、すべて完了した。今後もすべて4生徒に寄り添った形態で実施してゆく。</p> <p>(2) 学力育成、論文作成力育成の面でのさまざまな外部試験は引き続き実施してゆく。ただ、生徒自身による検証作業を確実に実施させる必要がある。</p>

<p>特別活動</p>	<p>(1) 強化指定部を中心に適切な部活動が実践されるように指導。</p> <p>(2) 校内美化をいっそう充実させる。学校をきれいにすることで生活意識の改善させる。</p> <p>(3) 本校伝統の学校行事の継承、維持に努める。 (例) 家隆忌・芭蕉忌・和歌披講会・宮中詠進など</p>	<p>(1) 強化指定部の活動内容を精査し、予定表のチェックと助言指導を実施。</p> <p>(2) 校内一斉美化の日を設け、学校全体で協力し、清掃活動を行う。</p> <p>(3) 全員参加を原則とし、文化意識を高めしておく。</p>	<p>(1) 強化指定部完全休養日／月4日 近畿大会以上の出場</p> <p>(2) 全校美化の日を設定。 11／5</p> <p>(3) 各行事ごとの要項の徹底</p>	<p>(1) 部活動での安全性、子どもの健康重視の観点から確実に実施できた。 また、吹奏楽部が全国に、ソフトテニス部が近畿大会出場を果たした。</p> <p>(保健安全部) 校内美化を継続実施する。</p> <p>(総務部) 伝統行事の維持に努める。</p>
-------------	---	--	---	---